

2013年10月17日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

『慶應型共進化住宅 Keio Co-Evolution House』プロジェクトが経済産業省のネット・ゼロ・エネルギー・ハウス事業に採択されました  
ENEX2014 会場に未来のエコハウスを展示します

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（以下「ZEH」）は高い環境性能の建築工法と住宅設備の導入による次世代のライフスタイル提案であり、東日本大震災以降はエネルギーセキュリティの意味でも注目されています。経済産業省資源エネルギー庁は、先進的な技術の開発と実証、標準化によるZEHの普及を旨として「平成25年度住宅・ビルの革新的省エネ技術導入促進事業」の一環である「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス標準化に係る調査・実証事業」を実施しています。

この事業に対して、様々な環境分野の先端的研究をリードする慶應義塾大学SFC研究所（以下「慶應SFC」）は、環境・文化再生デザイン・ラボを中心に、理工学部との連携による横断的な研究チームを立ち上げ、環境分野に注力する20社近い協力企業とコンソーシアムを結成して、慶應SFCが長年培ってきた高度な情報技術を住宅に応用しつつ、徹底した自然素材と地産エネルギーの利用による質の高い暮らしについて総合的に革新的な提案をしました。それが、環境負荷の低減、健康の維持と増進、安全な生活環境の実現という3つの課題を達成することはもちろん、これからの社会に適応しながら環境と共に進化する2030年の住宅『慶應型共進化住宅』です。

今回の事業には本学を含む5つの大学のコンソーシアムが採択され、2014年1月に東京ビッグサイトで行われるENEX2014の会場に実際に住宅を建設して展示と性能の検証を行います。またENEX2014来場者による投票も行われる予定ですので、どうかご期待下さい。

慶應義塾大学 SFC 研究所 環境・文化再生デザイン・ラボ

国内外の企業や自治体などからの委託により、具体的な都市や地域を対象に、自然生態系と社会文化を総合的に再生するフィジカルデザインの研究を行い、実践的な企画・計画として提案することを目的として、2013年6月1日に開設しました。

<http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/lab/ecrd.html>

ENEX2014 Smart Energy Japan 2014

<http://www.low-cf.jp/>

< 本事業担当教員 >

大学院政策・メディア研究科教授	池田靖史（代表）
大学院政策・メディア研究科教授	小林 光
環境情報学部教授	中村 修
環境情報学部特別招聘教授	堀江英明
理工学部システムデザイン工学科教授	伊香賀俊治
理工学部システムデザイン工学科准教授	西 宏章
総合政策学部准教授	古谷知之

< 本事業参加・協力団体 > 2013年10月17日現在（50音順）

旭硝子株式会社	アズビル株式会社	アラクスラネットワークス株式会社
株式会社イケダコーポレーション	宇賀亮介建築設計事務所	オイレスECO株式会社
オムロンヘルスケア株式会社	OMソーラー株式会社	キマド株式会社
京セラ株式会社	三機工業株式会社	ステラグリーン株式会社
セイコーソリューションズ株式会社	双日建材株式会社	ダイキン工業株式会社
帝国器材株式会社	株式会社デコス	東京ガス株式会社
東京大学生産技術研究所腰原研究室	TOTO株式会社	有限会社日本石材研究所
株式会社長谷萬	パナソニック株式会社	株式会社日比谷アメニス
ピーエス株式会社	銘建工業株式会社	矢崎エナジーシステム株式会社

< お問合せ先 >

慶應義塾大学 湘南藤沢研究支援センター 広報担当  
E-mail: [kri-pr@sfc.keio.ac.jp](mailto:kri-pr@sfc.keio.ac.jp)  
電話: 0466-49-3436